



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2011
4月号

No. - 432

法然 一生涯と美術

と き / 3月26日(土)～5月8日(日) 9:30AM～6:00PM

と ころ / 京都国立博物館 (祝日以外の月曜休館)

京都市東山区東山七条 ☎075-541-1151

鎌倉時代における仏教改革運動のトップランナーとしてよく知られている法然は、美作国(現・岡山県)の武士の家に生まれた。幼くして父を亡くし、その遺言にしたがって出家、比叡山で修学する。だが宗門での出世より隠遁の道を選んで比叡山西塔黒谷に隠棲し、その地で「財力がなく仏や寺院を造立できず、また厳しい修行にも耐えられない弱い立場の人々をいかにして救うべきか」を探った。そして一切経を何度も読み称名念仏にその道を見出した。比叡山を出て洛東吉水(現・京都市東山区)に草庵を構えたのちは、専修念仏の教えを広めることに努めた。



国宝「法然上人絵伝のうち、巻37第5段」(部分)
(知恩院蔵、全期間展示)

法然の教えは、天皇や公家、武家、さらに庶民にまでひろく浸透していったが、専修念仏の隆盛に対して旧仏教側からの反発を招き、後鳥羽上皇の女官の出家が契機となって念仏は停止させられ、法然は讃岐(現・香川県)に配流となった。その後赦されて帰京、まもなく、大谷(現・京都市東山区)の地で80年の生涯を閉じた。



国宝「阿弥陀二十五菩薩来迎図」
(知恩院蔵、展示期間：4/19～5/8)

往生800年を機に国宝・重文をはじめ、ゆかりの名宝の数々が全国から集められている。全長584メートルの「法然上人絵伝」(知恩院蔵)が展示替えにより全期間見られるほか、様々な資料を通して法然の生涯、人物像、思想と行動、さらに同時代の人々との関係をひもとき、人間・法然を浮かび上がらせる。

没後20年 中川一政展 ひとりこのみちをいく 一独行此道一

と き / 3月30日(水)～4月18日(月) 10:00AM～8:00PM

と ころ / 高島屋グランドホール8F (会期中無休)

京都市下京区四条河原町 ☎075-221-8811

明治から平成にかけて活躍した洋画壇の重鎮・中川一政(1893-1991)の没後20年を記念した回顧展である。少年期から詩歌で頭角を現し、詩作の傍ら、雑誌『白樺』に紹介されたゴッホやセザンヌを研究し、独自に絵画を習得した中川一政。



「福浦風景」

21歳の時に初入選した巽画会展で岸田劉生に認められ、草土社の結成(1915)に同人として参加。1922年の春陽会結成時に客員として参加し、その後の主要な作品発表の場とした。49年真鶴町にアトリエを構え、福浦や箱根「駒ヶ岳」等の連作に励んだ。日本洋画壇を牽引する重鎮として活躍し、75年に文化勲章を受章した。本展では生涯の主題とした薔薇や駒ヶ岳の連作のほか、油彩、岩彩、墨書、篆刻、陶器、挿画など約100点を展覧する。終生衰えることのなかった中川一政の創造精神とエネルギーに迫る。



「薔薇」

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
		金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		バウル・クレール展 —おわらないアトリエ (月曜休館)																														→5/15
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		特別展覧会 法然上人800回忌 法然 -生涯と美術- (月曜休館)																														→5/8
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	2011年7月頃まで、常設展示室を中心としたリニューアル工事の為全館休館いたします																														
	3F																															
	4F																															
	5F																															
	6F																															
	別館																															

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1	
		曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	親鸞聖人750回忌 親鸞展 生涯とゆかりの名宝 (月曜休館)																																
		女と陶芸 第50回 新作家集団展	第51回 日本南画院展					第37回 京都春季創画展										第46回 関西二科展																
	別館	京都国際 木版画協会展	第45回 東方展					第52回 京都写真連盟展					第50回 日本現代工芸美術展					第64回 日本アンデパンダン展 京都展																
		グループK2	第34回 日本染織作家展					京都現代水墨展					第65回 文人展					新美2011公募展																
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	NPO法人日本 写真協会 第1回 写真作品展	自由美術協会 京都作家展 (洋画)					京都二紀展 (洋画)					京都彫刻家協会展					第13回 京都墨彩画壇展																
	2F	河内国昭遺作展 (油彩)															染翔会展 (染織)																	
	3F	めい夢 作品展					紫苑の会 第14回 作品展					紫芳会書 展					桑の実会 水墨画展																	
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	「人」を描く-情景から造形へ- ミニ企画展 印象のペン画																																	
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	何必館コレクション「近代芸術家の書」展																																	
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	村田真人 作陶展	伊藤はるみ展 (日本画)					松林玄術 作陶展					檜垣青子 茶陶展					薔薇を描く (日本画・洋画)																
	グランド ホール	横山尚人ガラスデコール 展										神山直彦 作陶展					真神巍堂 書作展					滝口和男展 (無題に遊ぶ)												
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	ギィ・デサップ 来日絵画展	宝永たかこ絵画展					江戸・明治美術工芸 名品展					小川長楽・裕嗣 父子展					ディズニー展																
	アート サロン	輪島日工会					デイビット・クレイン 来日絵画展					中埜暢人・朗子 木工截金展					小川長楽・裕嗣 父子展					ディズニー展												
	ミュージアム	第62回 華道京展																																
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	公益財団移行・開館2周年記念 清水九兵衛没後5年・九兵衛の仕事																																	
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	春季特別展「七宝きらきら」(月・木曜日休館)																																	
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	生誕100年 南桂子展 銅版画-静寂の線がつくる世界 ルパン三世展																																	
アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397											沙門瑞應写真展 ~玄奘三蔵を想う~					筆を使わない画家 高辻賢一展					杉本尚志 作陶展													
アーツスペース虹 三条通上都ホテル隣 761-9238	寺島薫子 展					開館30周年記念展「馬文展」Jennifer Ma Wen (ジェニファー・ウェン・マ)																												
アーツスペース東山 東山区三条神宮道東入 751-1830	宮本孝之 展					野口明美 (月曜休廊) 彫刻銅版画と原画展 - 漆黒の世界とパリのメトロ -					4人の立体造形作家展 五穂・有爾・理吉・喜司					斉藤卓治 紙の昆虫たち展																		
イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372	極並 佑 (きわなみ ゆう) 展																																	
一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	常設展																																	
芸州堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)															アトリエ友の会 日本画展																		
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																	
延寿堂ギャラリーソフォア 中京区二条寺町東入 211-5552	杉江智 -クリスタルガラスの器- (木曜日定休)										-美しき器-久保裕子・佐野猛・ 佐野曜子・田中美佐・津坂陽介																							
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	徳田嘉孝展					常設展 (日・祝日休廊)																												
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	日本画常設展																																	
画廊おかざき 岡崎平安神宮道 761-0027	現代工芸作家常設展																																	
画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062	日本画常設展																																	
画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938	ロケット探偵団美術部 京都の色で鴨川のカモメを描こう展 (日曜休廊)																																	
画廊彩雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468	常設展 (土・日・祭日休廊)																																	

企：企画および常設を中心に活動する画廊 貸：貸画廊

[今月の展覧会より]

生誕100年 南 桂子展 銅版画 — 静寂の線がつくる世界

と き / 4月1日(金)～4月24日(日) 10:00AM～8:00PM
と ころ / 美術館「えき」KYOTO (会期中無休)
京都駅ビル内、JR京都伊勢丹7階隣接 ☎075-352-1111(代)

版画家・南桂子(1911-2004)は、富山県射水郡下関村(現在の高岡市中川)に生まれ、高等女学校時代から詩作や絵画制作に興味を持っている少女でした。戦後になり東京に出て童話や油絵を学び、後の夫となる浜口陽三と知り合い、銅版画を始めます。1954年、ともにフランスのパリに渡り、その後も長い年月をお互いに支えあいながら銅版画の制作を続けます。1982年、長年過ごしたパリから温暖な気候をもとめてアメリカのサンフランシスコに移り、1996年に帰国するまで、およそ40年余りを海外で生活し、制作を続けました。その間に生み出された銅版画には、ひとつひとつに清澄な詩情が満ちあふれ、見るものをその世界に引き込んでいきます。本展では少女や木や鳥をモチーフとした淡く繊細な表現による独自の深い魅力を紹介し、日本でも高い人気を博している版画家・南桂子を浮き彫りにしていきます。



「サクランボの木」
1962年(銅版画)



「花の籠」
1955年(銅版画)



「2人の少女」
1967年(銅版画)



「マロニエと少女」
1975年(銅版画)

何必館コレクション 「近代芸術家の書」展

と き / 3月12日(土)～4月24日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ / 何必館・京都現代美術館(月曜休館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

このたび、何必館コレクション「近代芸術家の書展」を開催いたします。

近代芸術家の書は、形や秩序にこだわる書家の書とは異なり、その芸術家本来の仕事と、磨き上げられた個性を彷彿させながら、作家の人間性がそのまま書に映し出される面白さがあります。

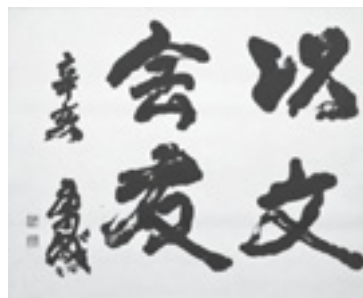
「人、墨を磨らず、墨、人を磨る」というように、一度きりの書作の中に、作家自身も気づき得なかったような内面が浮き彫りになります。そして、作家の思想と哲学が筆と墨に紙に宿り、生みだされる当意即妙の書。それが書というものの怖さであり、醍醐味ではないでしょうか。

本展覧会では、近代日本を代表する画家、陶芸家、彫刻家、詩人、文学者たち芸術家の卓越した造形性や人間性豊かで自由奔放な書など、個性溢れる「書」の世界を、何必館コレクションより厳選された約60点の作品によって展覧いたします。

それぞれの分野で磨き抜かれた芸術家達の書の世界を、この機会に是非ご高覧下さい。

出品作家

北大路魯山人	村上華岳	棟方志功	高村光太郎
川端康成	會津八一	梅原龍三郎	須田勉太
小倉遊亀	平櫛田中	奥村土牛	富本憲吉
藤唐九郎	熊谷守一		



川端康成「以文会友」



棟方志功「無盡蔵」

www.kahitsukan.or.jp

●記念出版『近代芸術家の書 梶川芳友著』2,800円

心象の吟遊詩人・要 樹平 遺作展

忘れられた画家シリーズ 33

と き／3月22日(火)～4月10日(日) 10:30AM～6:00PM

ところ／星野画廊(月曜休廊)

京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

要樹平は明治39年(1906)に大阪船場に生まれた。長兄が竹圃、次兄が硯山と号する南画家という美術一家である。大正13年に京都市美術工芸学校の卒業制作〈兵営附近〉が第4回国展に入選。昭和2年に京都市立絵画専門学校を卒業。在学中を含めて帝展に6回、国画創作協会展に2回入選する。11年に同志と「柏舟社」を結成しグループ展を東京、名古屋、大阪、京都で開催するが、戦後は画壇から離れて個展活動に入り、孤高の道を歩んだ。

超俗的な文人的雰囲気の漂う画風は、ときにミロやクレーを想起させるが、ユーモラスな風刺精神に裏打ちされた独自の画風を展開し、水墨による抽象世界、書、篆刻にも領域を広げ、熱烈なファンを魅了した。平成6年(1994)に87歳の生涯を閉じた。

本展は、昭和61年(1986)に京都国立近代美術館新館開館を記念して当画廊で開催した「京の異色日本画家シリーズ」の最終章で取り上げて以来、実に25年振りの展観となる。この間引き続き遺作の収集を続け、昭和初期の雅味深い日本画を始め、戦後に発展させた独自のシュールな絵画や文字絵、書など約60点によりその生涯を俯瞰するものである。



「緑のひげ」1953年
50.8×71.0 cm 紙本彩色／軸装

記念図録：B5版44頁
頒価：1000円



「眼の光る森」1949年
64.7×31.8 cm
紙本彩色／額装



「万里寒香生積雪」
1971-85年頃
紙に水墨／軸装

日 浅 和 美 展

と き／4月5日(火)～4月10日(日) 11:00AM～6:00PM

ところ／ギャラリー青い風(月曜休廊・最終日5:30PM)

京都市左京区岡崎円勝寺町91神宮道東側 ☎075-752-0182

シリーズ〈時の軌跡〉に寄せて
時は刻む。片時も休むことのない誠実さで。
そして時は色々な物語を連れて来る。
折りに厳しく、折りに優しく。
だからこそ今という与えられたかけがえのない時との
生命の軌跡をとどめていきたい。

(日浅和美 記)



シリーズ「時の軌跡」油彩

〈日浅和美 略歴〉

1945年 愛媛県西条市に生まれる
1963年～1969年 京都東山造形美術研究所にて竹中三郎に師事、油彩画を学ぶ
1969年～2001年 自由美術協会会員
1970年 フランスに渡り、パリのアトリエ17でS. W. Hayterに師事、銅版画を学ぶ
1975年～1976年 ノルウェー政府給費性として、オスロのアトリエノール(OSLO)にて制作
1976年～ フランスに戻り、芸術活動を続け現在に至る

〈個展、グループ展〉

1968年～2011年 日本、フランス、スウェーデン、ノルウェー、ドイツ、アメリカ、アルゼンチン、デンマーク、ブラジル、カナダ、オーストラリア、メキシコ、スペイン他

〈収蔵〉

パリ国立図書館(フランス)、オスロ文化会館(ノルウェー)、モルクスガ財団(スウェーデン)
ドビニー美術館(フランス)、カン美術館(フランス)、イブセン記念館(ノルウェー)
サンモール市立美術館(フランス)、H. S. Bカンパニー、フォヌススパール銀行(スウェーデン)
Falun, Rattvik, Solentuna コミュン、Dalarna コミュン、オレゴンアート研究所(アメリカ)
キングストーン・シアター(イギリス)、メッツ国立図書館(フランス)他

嘯矢祭 — 其之九十一 — 上田勇一 展

と き / 4月14日(木)～4月20日(水) 10:00AM～6:00PM
ところ / 大雅堂(会期中無休)
京都市東山区祇園町北側302 ☎075-541-7388

上田勇一は、ルネサンス期に使用された古典絵画技法、シルバーポイントやテンペラを用いて制作をしている。2002年度の日本ファンタジーノベル賞受賞作「世界の果ての庭」(新潮社)の装丁を担当。美術家の登竜門である、第38回昭和会展(2003年)にて優秀賞を受賞。最年少で現代日本美術会会員に推挙され審査員になる。

愛媛県美術館・2010年度予算にて作品「ドライフラワー」が購入決定される。

上田勇一 略歴

- 1974 東京に生まれる。高橋勉氏に師事し古典技法を学ぶ
- 1996 日本工業大学工学部建築学科卒業。同大学同学科研究生(98年まで)
- 1998 第1回象の会展(ギャラリーモテキ/銀座)
- 2000 個展(ギャラリー恵風/埼玉 越谷)(02, 04, 05, 06, 07, 09, 10)
時分の花展(ぎやらりい朋/銀座)(01も)
第2回象の会展(ギャラリーモテキ/銀座)(04も)
- 2001 第5回新生展 大賞受賞(新生堂/南青山)
- 2002 個展(ぎやらりい朋/銀座)
- 2003 個展(新生堂/南青山)
第38回昭和会展(日動画廊/東京) 優秀賞受賞
ミニヨン展(日動画廊)(04, 05, 06, 08, 09, 10も)
現代日本美術会会員推挙賞受賞
- 2004 第4回新たなる視覚展(日動画廊/福岡)(05も)
第41回太陽展(日動画廊/東京)
現代日本美術会大賞受賞
- 2007 第38回日動展(日動画廊/東京)
- 2009 〈画廊企画展〉個展(ギャラリー恵風/埼玉)
- 2010 「ミルコトカラハジマル・自然との対話展(愛媛県美術館・新館)
個展(アスクエア神田ギャラリー/東京)
第5回象の会展(青木画廊/東京・銀座)
- 2011 個展(ギャラリーかわにし/愛媛)



「佳宵」53×53cm

Galleryちいさいおうち オープニング個展 中井智子日本画展 ～桜と乙女～

と き / 3月29日(火)～4月10日(日) 11:00AM～6:00PM
ところ / ギャラリーちいさいおうち(月曜休廊)
京都市下京区室町通り四条下ル ☎090-9977-1559

このたび、中井智子さんにオープニング個展をして頂くことになりました。

中井智子さんは、京都生まれ京都育ちの若き日本画家です。お家はお父様が油絵画家、お母様がガラス絵作家という常に絵がある環境で、自然と「絵描きさんになりたい」と思うようになったそうです。東京藝術大学で日本画を専攻し、大学院在学中は源氏物語絵巻の模写をされました。

彼女の絵は、「いかにもな日本画」ではありません。西洋と和が混ざり合ったようなテイストの、懐かしくも新しい絵です。描かれた乙女と花、動物や文様などが組み合わさって昇華していくような世界に、観る者は引き込まれます。また、日本画独自の画材である岩絵の具にこだわり、色の鮮やかさと質感を作品に生かしておられます。

桜を描いた作品など、新作も多数展示いたします。是非ご高覧ください。

Galleryちいさいおうち 代表 岡村



オープニングパーティ：初日17:00～

尚、ハーブ奏者、寺本圭佑のアイリッシュハーブの演奏を初日パーティーの17時半からと、4月7日8日9日の17時半から行います。

URL : <http://www9.plala.or.jp/little-house2/index.html>

中井智子 略歴

- 京都市に生まれる
- 2004年 東京藝術大学美術学部日本画専攻卒業
- 2006年 東京藝術大学大学院美術研究科終了
「源氏物語絵巻」模写を同大学美術館買上
- 2008年 絵の現在選抜展金賞
- 2009年 「源氏物語絵巻」模写を五島美術館買上
現在、個展を中心に活動

黒崎 彰「近江八景」完成記念展

と き／4月9日(土)～4月24日(日) 1：00PM～7：00PM
ところ／ギャラリー宮脇(月曜休廊)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

1960年代後半、浮世絵版画の伝統を現代に蘇らせることによって最も革新的な木版画の表現を拓いた黒崎彰(1937年生まれ)。以後四十年以上にわたって日本の現代版画界を牽引し、今なお新しい表現に挑み続けている。このたび、自身の出自に縁深く、長年その制作を夢見、用意にも心を砕いてきたという連作「近江八景」を、九二年の期間を経て遂に完成した。

古くから画家や版画家の心を捉えて放さないこの著名な主題は、近江湖南地方の持つ情感とその美しさを映し出したすぐれた文学と美術によって知られている。木版画では広重(1834年頃刊行)と深水(1917～18年制作)による傑作があり、今回の黒崎彰版完成によって、木版画史に二十一世紀の新たな轍が刻まれることになろう。

他の木版画やペーパーワークも併陳。初日夕刻5時より作者を囲みレセプション開催。作者によるエッセイ収載の記念パンフレット『螺旋階段』第86号を会期中無料配布。当画廊では黒崎彰の全年代作品を豊富に取り扱っている。

記念講演「黒崎彰・近江八景を語る」
4月17日(日) 午後2時開演
(1時間半程)
定員50名／要予約・申し込み先着順
参加無料



「栗津晴嵐」85×50cm
ed.50



「三井晩鐘」85×50cm
ed.50



「瀬田夕照」85×50cm
ed.50

きわ なみ ゆう 極 並 佑 展

と き／4月16日(土)～5月28日(土) 11：00AM～7：00PM
ところ／イムラアートギャラリー(日曜、月曜、祝日休廊)
京都市左京区丸太町通川端東入丸太町31 ☎075-525-1311

極並佑(1985年生京都市生まれ京都在住)は京都造形芸術大学大学院に在学中の08年から「modern people」と題する一連のシリーズを制作しています。登場する人物は顔のパーツの部分が描かれていません。「顔のみえない人物、誰でもない、言い換えれば誰でもある、そんな曖昧な人物像に大きな魅力を感じている」と極並は言います。携帯電話、インターネット、ブログにツイッター。距離を超え、時差も飛び越え、世界中の人々が顔を合わせることなく、瞬時につながる現代社会。そんな時代に生きる現代人の曖昧で希薄な関係性が表されています。登場人物の顔の部分が描かれていないにも関わらず、その人物の存在がしっかりと主張されています。

これまでの彼の作品は、人物や背景が単純化され、黒く太い線で輪郭が縁取られ、色面が均一に塗られ、非常にグラフィカルでクールな印象を与えていました。しかし、昨年から作風に変化が見られました。グレートーンの微妙な色彩で描かれる山や海といった風景が背景に現れ、全体が不穏な雰囲気にも包まれています。又、背景に整然と並ぶ大きなドットやソファが描かれるなど、平面画面において、奥行きと物語性を感じられるようになりました。それまでは極力ミニマルな表現に徹していましたが、現在はそういった削ぎ落とししてきたかけらを拾い集める感覚で描いているといいます。

今回はイムラアートギャラリー京都にて初の個展となります。100号2点を含む新作約7点を展示いたします。平面絵画の可能性を追求する極並佑の新しい展開を是非ご高覧ください。

レセプション 4月16日(土) 17：00～

極並 佑 Yu KIWANAMI

1985 京都市生まれ。

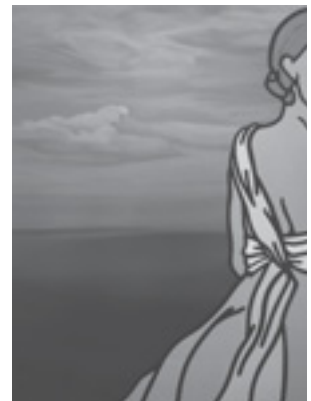
2005 「第18回美浜美術展」

2008 「京展」「シェル美術賞展」「京都美術ビエンナーレ」

2009 京都造形芸術大学大学院芸術研究科 修士課程芸術表現専攻修了

2010 「PAINTING IN QUESTION」「Tokyo Contemporary Art Fair PLUS」

受賞：2005 美浜美術展 美浜町長賞 2008 シェル美術賞 入選

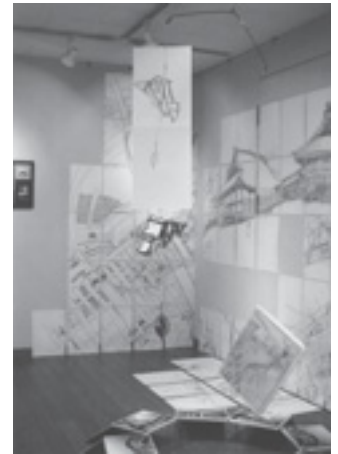


「modern people」2010
Acrylic on canvas
130.3×97.0cm

八田 淳展 一素旅素描ふじ借景一

と き／4月19日(火)～5月1日(日) 12:00～7:00PM
 ところ／ギャラリー・マロニエ (月曜休廊／日曜は6時まで)
 京都市中京区河原町通四条上ル東側 ☎075-221-0117

八田淳の鉛筆ドローイングは、風景のある部分が一枚の画用紙にスケッチされ、次にそれに隣接する風景が二枚目の紙に継ぎ足されていく。こうして順次継ぎ足され、「全体」が構成されることになる。各スケッチの縦横隣接部分は符合させてあるので全体のバランスが大きく狂うということはない。「一視点に基づく統一空間」からの開放でもある。人は常に時間の進展とともに視点を異にする同じ箇所を見続けていても、瞬間毎に見え方は変化する。「見えないもの」が見えてきたり、「見えていたもの」が見えなくなったりする。それが曖昧な身体としての人間の肉体なのである。「見えない」という意志も含めて、八田の風景は歪んでいるが自然である。「部分」としてのそのつどの視点がそのまま扱った「見えているもの」の組み合わせによって、「全体」が構成されているからである。ひとたび「全体」なるものが統一的に構成されてしまうと、見えるはずもない「全体」を見てしまいがちであるが、それは「見ることの権力」に他ならない。八田の「部分-全体」関係は明らかにこのような「権力」からの開放に基づくものである。「フジ」の写真是スナップが「部分」であり、それらが「象徴フジ」という「全体」を構成しているという点では、まさにスケッチと同じ展開になっているといえる。「象徴」とは実物を代理するもので、実物の「意味-価値」を担う記号のことである。「フジ」が「象徴」であるのは、それが何らかの意味を帯びているからである。八田は「Fuji」という言葉の起源を尋ね、マレー語、アイヌ語、朝鮮語等との関連を見出している。「諸国のコトバのパノラマ」は収縮したり膨張したり、あるいは湾曲している諸部分によって構成されているはずであって、「フジ=日本」という統一された意味を担う「全体」ではない。八田は「スナップ=フジ」によって、「意味」をめぐる「部分-全体」の本来の関係を跡付けようと試みている。「起源」とは世界中を駆け巡るある事柄の仮象であり続ける他はないのである。(展覧会カタログテキストより、秋田由利を再構成)



「ドローイング作品 (部分)
2009年

パフォーマンス 4月19日 18:00～ 映像上映 4月29日 17:00～ ところ：ギャラリーマロニエ5F

第16回 近代絵画作品展

と き／4月23日(土)～5月5日(木・祝) 10:00AM～6:00PM
 ところ／ギャラリー鉄齋堂 (会期中無休)
 京都市東山区新門前東山西 ☎075-531-6164

此度、恒例となって参りました近代作家の作品を展示即売させていただきます。
 大正時代の近代絵画の幕開けから現在に至る迄の日本画を中心とした展覧会です。
 特に京都画壇の流れは十分に感じて頂ける事と思っております。
 尚、今回も図録を当社にて販売しております。(3000円・フルカラー 596点掲載)
 掲載作品中17点には美術評論家の今井淳先生に作品解説を頂いておりますので、絵を見る楽しみの手助けにでもして頂けましたら幸いです。
 春のひとつときお誘い合わせの上、お気軽に御立ち寄り下さいませ。



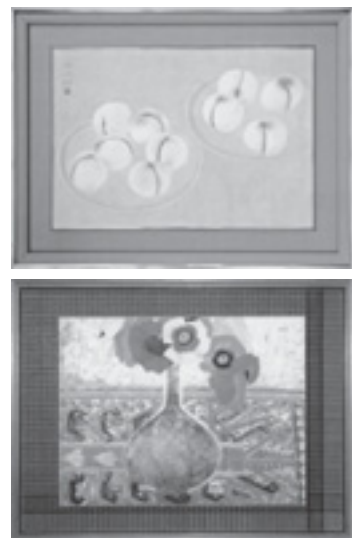
竹内樓風「秋晴」



富岡鉄斎「寿老人」



上村松園「桜可里の図」



福田平八郎「桃」

秋野不矩「芥子」

藤田 修 版画展 — 深遠なるモノローグと題して

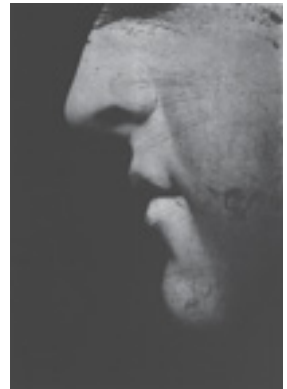
と き／4月23日(土)～5月8日(日) 10:30AM～6:00PM
ところ／ギャラリー白川 (月曜休廊) (東山安井信号東入ル南下ル)
京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

2010年12月18日～2011年4月3日、横須賀美術館で開催された「藤田修－深遠なるモノローグと題して」からセレクトした作品展のご案内です。

藤田は、1980年代から写真のイメージを銅版に定着させるフォトエッチング技法で版画制作をはじめます。以後、一貫して自ら撮影した建築、彫刻、室内などの写真の断片を組み合わせ、写真イメージをとりいれながら銅版画表現の可能性を追求してきました。中でも藤田が2004年から導入した版画技法フォトポリマーグラヴェールで制作された作品は、深いインクの質感からくる存在感と藤田独自の際立った「黒」が実に美しい作品となっております。今展では、フォトポリマーグラヴェール技法による作品と銅版を併用した新作群約20点に自家製活版印刷の短文とフォトポリマーグラヴェールの図版を組み合わせた最新作の詩画集《生まれるのに時があり》を展示いたします。藤田の手から生み出されるフォトポリマーグラヴェール技法による深みある「黒」を、お楽しみくださいませ。



「生まれるのに時があり」2010年
活版印刷
＋フォトポリマーグラヴェール



「Story-80」2008年
530×385mm
エッチング、アクアチント、
フォトポリマーグラヴェール

藤田 修

多摩美術大学卒業。2007年より武蔵野美術大学でフォトポリマーグラヴェールの特別講師

受賞歴：現代日本美術展や神奈川美術展等多数

パブリックコレクション：プリザストン美術館、国立国際美術館、神奈川県立近代美術館、横浜美術館、山梨県立美術館他多数



「mother-A4-100」2010年
フォトポリマーグラヴェール 540×970mm

パウル・クレー展 — おわらないアトリエ

と き／3月12日(土)～5月15日(日) 9:30AM～5:00PM
ところ／京都国立近代美術館 (祝日以外の月曜休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

スイス生まれの画家パウル・クレー (Paul Klee, 1879-1940) は、長らく日本人々に愛され、これまでも数多くの展覧会が開催されてきた。「創造の物語」や「旅のシンフォニー」または「線と色彩」などの副題が示すように、作品の物語性や制作上の理念が詩情豊かに詠われたそれら展覧会は、多くの人々にクレー芸術の魅力を伝える大きな役割を果たした。今回、京都と東京の国立近代美術館で初めて開催されるクレー展では、今までの展覧会成果を踏まえた上で、これまでクローズアップされなかった観点、「クレー作品が物理的にどのように作られたか」について考えるために、模範的作品を紹介する章と制作上の具体的な技法を検証する6つの章によって、クレー芸術の創造的製作過程を明らかにすることを目指している。



「アトリエのパウル・クレー」



「バルトロ：復讐だ、おお！」
1921年

ベルンのパウル・クレー・センターが所蔵する作品を中心に、日本初公開の作品が数多く含まれた約170点で構成される本展覧会は、芸術そして芸術家の理念的なあり方だけではなく、芸術が、とりわけ芸術家の手によって、具体的にどのように作られるかをも検証する好機会である。

(金曜：夜間開館午後8時まで)



「E. 附近の風景 (バイエルンにて)」
1921年 (パウル・クレーセンター蔵)

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
		曜	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)
企	画廊 たつ	日本画常設展																															
東山区神宮道三条西入ル	771-8225																																
貸	画廊 ビーナス	第31回 赫の会展										花と緑の風景画展 (油) 原田満三遺作																					
三条大橋東一筋目上ル東	771-3104																																
貸	ぎおんギャラリー八坂	洋服とアクセサリー (廣瀬光美)															シャポー RITSKO作品展 走りつ子																
東山区祇園町南側	525-1717																																
貸	ギャラリー 青い風	日浅和美展 (洋画)										青い風小品展 (日本画・洋画・版画等) (月曜休廊)										芸美展 (1970年入学 京都芸大日本画同期展)											
左京区岡崎神宮道東側	752-0182																																
貸	ギャラリー いちかわ	貸画廊予約受付中																															
下京区河原町松原上ル	351-7267																																
貸	ギャラリー M	春のバリ、ルーアン、モンサンミッシェルを描く展 (松本祐佳)															花のバリとロワール地方 (松本祐佳・句と絵) 展																
中京区蛸薬師高倉西	221-0979																																
貸	ギャラリー 押小路	常設展																															
中京区押小路岡之町東入	212-8345																																
貸	ギャラリー カト	1F	森村みつ子展					谷本暁雄 個展					第17回 昭和美術委員展					上野明・裕子 2人展					牧野木のおもちゃ展										
中京区寺町御池下ル	231-7813	2F	堯美術展										空 展					燐 展					毘沙門展										
企	ギャラリー かもがわ	荒瀬春佳・大西美香子作品展										菱本光一郎「京絵師光一郎」京を描く (日本画・水彩画) (火曜休廊)										野々口泰代展 (銅板画他)											
上京区堀川出水西入	432-3558																																
貸	ギャラリー 河原町	常設展 院展 日本画 貸画廊受付中																															
中京区河原町二条上ル	231-6249																																
貸	ギャラリー 祇園小舎	第10回 染めと織り in 祇園					ポースン 婦人服展示会					布工房かとう 古布制作展					第8回 景彩会水彩画展					第15回 虹の会絵画展					花の絵 ファンタジック 水彩画グループ展						
東山区四条通錦手東入	551-3828																																
貸	ギャラリー 吉象堂	向洋会展										小森文雄水墨画展										宮本絵画教室 作品展					京の若手の漆器展 吉象堂展「金の卵」						
中京区三条柳馬場東	221-3955																																
貸	ギャラリー 恵風	1F	大西治・雅子展					絵画8つの響き 黒川彰夫・黒田克正・斎藤 博・中野庸二・中原史雄・森田康雄・森本 勇・山本達郎					二宮孝司展					柴田真由美展 (月曜休廊)															
左京区丸太町大東大路東入ル	771-1011	2F	横田順展										山本麻矢展					国際交流総合展実行委員会展					黒宮由美展										
企	ギャラリー 佐野	申込受付中																															
中京区寺町蛸薬師西北角	221-2767																																
貸	ギャラリー 三條																																
中京区三条小橋西入	221-3341																																
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
		曜	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)
企	ぎやらりい 思文閣	細川護光 作陶展					常設展示																										
東山区古門前大和太路東	761-0001																																
企	ギャラリー 白川	高安醇新作展 (月曜休廊)															藤田秀版画展 - 深遠なるモノローグと題して -																
東山安井東一筋目南	532-2616																																
貸	ギャラリー 翔	上西秀美 個展					長谷川文字展 No regretの続き					片井茂樹木工展 f. f. f.					第10回 アトリエ洛 北山教室グループ展 (油彩・水彩・ハガキ絵)					染めと切り絵 (一輪ざし他)											
左京区北山道下鴨中道東	724-8154																																
貸	ギャラリー 16	金澤麻由子 (映像インスタレーション)										安喜万佐子 個展 - 歩行と逆光 - (平面) (月曜休廊)										上瀬奈緒子 - 間(あいだ)の物語 - (平面) (月曜休廊)											
東山区三条通白川橋西入上ル	751-9238																																
企	ギャラリー 創	常設展 (鴨居玲・熊谷守一・麻生三郎・伊藤若冲・白隠慧鶴・曾我蕭白 他) WEB 若冲展開催中 http://www.gallery-so.co.jp																															
中京区河原町御池上ル	251-0522																																
貸	ギャラリー 象鯨	常設展 (貸画廊受付中)																									湯浅三郎 展						
中京区姉小路柳馬場東	253-0738																																
貸	ギャラリー 高倉通	休廊・貸画廊予約受付中 (当ギャラリー前、京都文化博物館が7月のリニューアルオープンに向け工事中のため、皆様のご迷惑を考慮し休廊しています)																															
中京区高倉姉小路下ル	221-3390																																
貸	Gallery ちいさいうち	中井智子 日本画展 ~桜と乙女~															貸ギャラリー受付中																
下京区室町四條下	090-9977-1559																																
企	ギャラリー 鉄齋堂	常設展 (6・9・18・19日休廊)															第16回 近代絵画作品展																
東山区新門前東山西	531-6164																																
企	ギャラリー 知(とも)	DESSIN EXPOSITION 2011															企画・私の好きな本 京都精華大マンガ学部																
中京区寺町通丸太町東入ル南側	585-4160																																
企	ギャラリー なかむら	根之木正明展 (洋画) (月曜休廊)																															
中京区姉小路河原町東	231-6632																																
企	ギャラリー 中井	今村行子 展					高島佑子 日本画展										池山れい 展					天野達夫 陶展											
中京区木屋町三条上ル	211-1253																																
貸	ギャラリー はなうさぎ	room G	梶山美新 (インスタレーション)					ありがひさこ (平面)					川崎 洋 (平面)					直井 淳 (平面)					BOX美術館展10 (26人グループ)										
東山区神宮道三条東北角	761-9606	room G	木代喜司 (インスタレーション) (月曜休廊)										植松美早 (立体) (月曜休廊)																				
企	ギャラリー 白梅園	白崎信子 ガラス作品 常設展																															
北区北野上白梅町63	461-0427																																
貸	ギャラリー ヒルゲート	1F	黒田 富紀子展 (油彩・銅版)					大杉真司展 (油彩)					風の方向 (ゆくえ) 川口起英雄教室の作家展					桜井絵月展 (油彩・アクリル)					冷水隆治展 (油彩)										
中京区寺町三条上ル	231-3702	2F						島海太郎展 (木版)					ENNEN FACTORY 版画展					角りわ子展 (陶)					渡辺裕司展 (木版)										
企	ギャラリー 美楽堂	日本画常設展																															
東山区神宮道三条上ル	761-9710																																

→5/15

→5/8

→5/4

→5/5

→5/8

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1	
		曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
貸	ギャラリーマロニエ	3F	キョウ展										アクトアート展(総合)(月曜休廊)																					
	河原町四条上ル東側 221-0117	4F	岩村隆昭展(写真)(月曜休廊)										つかもとゆき展						中村寛展(ドローイング)															
		5F	八田淳展(ドローイング)(月曜休廊)																															
貸	ギャラリーみすや		鬼頭展				火曜会(絵画)				美友会(日本画)				コムラドリ展(クッキー)				花梨の会(油絵)															
中京区三条河原町西入 211-5997																																		
企	ギャラリー唯		春のよそおい 長谷川淑子展				松永恵子 墨彩展				顔彩で描く・心の彩 笠井季美展				中川奈美 日本画展				やわらかいガラス展 高橋直樹															
左京区岡崎神宮道東側 752-0348																																		
企	ギャラリー洛中洛外		谷口左和子 陶展																															
山科区清水焼団地内 595-5450																																		
企	ギャラリー龍馬		龍馬と酢屋 常設展(11:00~17:00 水曜休廊)																															
河原町三条下ル東入 211-7700																																		
企	ギャラリー正観堂		渡辺章雄作品展															常設展																
東山区切通新門前上ル 533-4110																																		
企	ギャラリー宮脇		黒崎 彰「近江八景」完成記念展 13:00~19:00 月曜休廊																															
中京区寺町二条上ル 231-2321																																		
企	ギャラリー百音(もね)		古川育代・澤村直美・ 建口恵子 三人展 (月曜休廊)				アンティークマイセンカップ&ソーサーコレクション・工房ファロガラス展(月曜休廊)																											
左京区岡崎神宮道東側 708-2138																																		
貸	ギャリエヤマシタ	1F	東北の手仕事展		慶順窯 陶芸愛好会作品展				第21回 出曼朱展(油彩)				「風」京展 竹宮桂恵子																					
中京区寺町三条上ル 231-6505	2F	寺田みのる京道教室 水彩スケッチ展						木版画展 雅堂会																										
貸	京都ギャラリー		貸ギャラリー受付中																															
中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435																																		
企	京都芸術センター		hana 2011				「Meet The Animals ―ホームルーム」展																											
中京区室町蛸薬師下ル 213-1000																																		
企	京都東急ホテルギャラリーkazahana		Nino Karumidze (ニノ カルミゼ) Exhibition In Kyoto												第35回 日本画春季光玄会																			
下京区廻川通五条下ル 341-2646																																		
貸	京都万華鏡ミュージアムアートスペース		万華鏡ファンタジー				あすなろ会押し花展																木村剛之 写真展											
中京区姉小路東洞院東入 254-7902																																		
貸	京町家ギャラリー桂風		水墨画新世紀 モノクロームのかたり羽				貸ギャラリー申込受付中																											
下京区仏光寺高倉東 361-4146																																		
貸	COHJU contemporary art	1F	素材と表現																															
中京区丸太町寺町西 256-4707	2F	artco アートとともに過ごす日常																																
貸	堺町画廊		講演会		ものうみAQUART企画 奄美復興支援展				村上康成展「森羅万象」(24日トークあり) (25日休廊)																									
中京区堺町御池下ル 213-3636																																		
貸	里見有清堂		貸画廊受付中(221-5423 または 463-3927:山崎)																															
中京区堺町三条上ル 221-5423																																		
企	三条祇園画廊		常設展																															
中京区河原町三条東 255-3335																																		
企	蔵丘洞画廊		常設展 お愉しみ蔵丘洞ノ棚 コーナー(日曜休廊)				黄瀬戸による池西剛展(無休)				常設展																							
中京区御池寺町東入 255-2232																																		
企	ニュートロン		瓜生祐子展(平面)(11:00~23:00・最終日は21:00まで)												三尾あすか&三尾あづち 双子の姉妹展 (平面・立体)(11:00~23:00)																			
中京区三条烏丸西入 211-4588																																		
企	大雅堂		常設展 ~コンテンツポラリーアート~												上田勇一展				常設展 ~コンテンツポラリーアート~															
東大路通祇園上ル 541-7388																																		
企	梅軒画廊		日本画・洋画常設展(日・祝祭日休廊)																															
中京区烏丸四条上ル 221-3510																																		
企	ヴォイス・ギャラリー	dfs	安慶田 渉個展				杉浦美江「air condition」(ドローイング・インスタレーション)(日・月定休)																											
南区東九条西岩本町10 585-8458	w	グループ展 elasticity				小谷真輔「無重力サーキット」(絵画・インスタレーション)(日・月定休)																												
企	ポルタギャラリー華		市来功成 絵画展		三代目 島田竹宝齋展												山田えい子ガラス工芸...																	
下京区京都駅前地下街 365-7519																																		
企	星野画廊		忘れられた画家シリーズ-33 心象の吟遊詩人・要樹平遺作展				名作発掘品(月曜休廊)				描かれた「ばら・薔薇・バラ」																							
東山区神宮道三条上ル 771-3670																																		
企	松本松栄堂		新・古書画常設展																															
中京区寺町夷川上 212-0626																																		
企	村田画廊		常設展(火・祝日休廊) 10:00~18:00																															
左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960																																		
貸	山総美術	山総	常設展																															
岡崎平安神宮道 751-6333	シュマン	常設展																																
貸	ヤマモトギャラリー		神野逸三・かや子展																															
中京区姉小路寺町東入 231-2341																																		
貸	龍枝堂画廊		貸画廊申込受付中																															
中京区寺町二条上ル 252-4120																																		

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>